第１号議案

令和元年度事業報告及び決算報告について

令和元年度事業報告

１　概要

　令和元年度は、公益社団法人として公益性を常に認識しながら理事会を中心に執行体制を整えて適切な運営に努めました。

また、本会の自主事業として、生涯教育研修会（４回）及び「日本人の食事摂取基準（2020年版）」研修を開催したほか、日本栄養士会、栃木県等からの委託事業を実施するとともに、第１２回栃木県栄養改善学会（記念講演・学術集会）や厚生労働省の補助事業である栄養ケア活動支援整備事業を実施しました。

　　令和元年度の主な事業の概要は次のとおりです。

２　個別事業等の概要

（１）会議

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　会議名 | 年　月　日 | 実施場所 | 内　　　容　　　等 | 出　席　者 |
| 第４９回定期総会及び研修会 | 令和元年５月１８日（土） | コンセーレ大ホール | ○　総会　・平成３０年度事業報告及び決算報告について（平成３０年度監査報告含む）　・令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)について　いずれも原案どおり承認・可決された。○　研修会講演「ロコモティブシンドローム」講師：地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター理事長　　星野　雄一　先生 | 出席会員　７７名委任状提出会員　　　　２６１名合計　３３８名 |
| 理事会 | 平成３１年４月２３日（火）令和元年６月１８日（火）８月２７日（火)10月２９日（火）令和２年１月２１日（火） | 県栄養士会会議室　　同　　同　　同　　同 | 栃木県栄養士会の事務及び事業の円滑な実施並びに会の適正な運営を図るため、定例理事会を、４月、６月、８月、１０月、１月（年間５回）に開催した。* ３月の理事会は、新型コロナウイルスの拡散に配慮し中止した。
 | 出席理事　１２名１２名１４名１３名１３名 |
| 令 和 元年 度 分会計監査 | 令和２年５月　８日（金） | 県栄養士会会議室 | 令和元年度分の会計監査を実施した結果、適正に処理されていることが認められた。 | 監事　３名会長副会長 |

（２）　(公社)日本栄養士会等委託事業

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 事　業　名 | 年　月　日 | 実施場所 | 事　業　内　容 | 参加人数 |
| １ | 食生活と植物油栄養に関する講習会（日本栄養士会委託：日本植物油協会協賛） | 令和元年10月19日（土） | とちぎ健康の森大会議室 | 講義　「知っておきたい植物油の基礎知識について」講師　日本植物油協会技術担当理事　水野　毅講演　「食用油脂と健康との関わり」講師　女子栄養大学教授　川端　輝江 | ４５名 |

（３）栃木県委託事業

| No | 事　業　名 | 年　月　日 | 実施場所 | 事　業　内　容 | 参加人数 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 食生活・栄養情報相談事業（委託）（健康増進課） | 年間を通じて | 県内全域 | ・食生活・栄養相談（電話相談）　年間　　　２５１件（相談会等）　年間　　１０７７件・情報紙「栄養とちぎ」年３回発行・県の施策に関する普及啓発支援・正しい栄養知識の普及啓発　等 |  |
| ２ | 査読委員会（管理栄養士等資質向上研修会における口演発表審査）（一部委託)（健康増進課） | 令和元年１０月３日（木） | 県栄養士会会議室 | 管理栄養士等資質向上研修会（第12回栃木県栄養改善学会）の口演発表内容について査読委員会を開催して審査した後、審査結果を発表者に通知した。 | 宮本佳代子委員長佐藤敏子中山竜司齋藤美保子各委員役員理事７人 |
| ３ | 管理栄養士等資質向上研修会（名称：第12回栃木県栄養改善学会）（委託）（健康増進課） | 令和元年１２月１５日（日） | コンセーレ大ホール他 | * 午前の部

・演題「糖尿病の食事療法への理解を深めたい！～血糖降下薬を生かす食事療法とは～」講師　上都賀総合病院　糖尿病センターセンター長　松村　美穂子* 午後の部

・口演発表　　座長：晃陽学園　晃陽看護栄養専門学校教　授　　宮本　佳代子座長：栃木県県北健康福祉センター副主幹　　中山　竜司(1) 【公衆栄養】給食実施状況報告書から見えた管内給食施設の現状と課題〇小島礼枝（栃木県県南健康福祉センター）(2) 【公衆栄養】災害時における食物アレルギー対策の取り組みについて○髙橋紀美子（鹿沼市役所　健康課）(3) 【臨床栄養】摂食嚥下サポート委員会設立に伴い行った栄養士の取り組み〇須藤美沙紀（獨協医科大学病院栄養部）(4) 【給食・食事管理】学校給食における食物アレルギー対応の実践と課題○大島久美子（下野市立石橋中学校栄養教諭） | １７９名 |
| ４ | 糖尿病・慢性腎臓病（ＣＫＤ）研修会（委託)（健康増進課） | 令和２年１月２６日(日) | とちぎ健康の森大会議室 | 管理栄養士等を対象とした糖尿病・慢性腎臓病（CKD）専門研修を実施した。①　栃木県の糖尿病対策について　講師　栃木県保健福祉部健康増進課技師 　鈴木　優佳②　糖尿病腎症の進展予防に対する包括的糖尿病管理の重要性　講師 獨協医科大学内分泌代謝内科　登丸　琢也③　慢性腎臓病の療養指導　講師　獨協医科大学病院栄養部　　大石　比奈子④　慢性腎臓病の症例検討　講師　獨協医科大学病院栄養部　　齊藤　克枝 | ８０名 |

（４）その他の委託事業

| No | 事　業　名 | 年　月　日 | 実施場所 | 事　業　内　容 | 参加人数 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 米料理講習会（委託）(一社)とちぎ農産物マーケティング協会 | 令和元年１１月６日（木） | 矢板市泉公民館 | 県内産米（とちぎの星）を活用した料理教室・試食 | ２５名 |
| 令和元年１２月２０日（金） | 矢板市ふれあい館 | 県内産米（とちぎの星）を活用して日本型食生活の推進 | ２０名 |
| 令和２年１月２５日（土） | とちのみクッキングスクール | 「メタボ」から「ロコモ」へロコモ世代に向かって。食事の摂り方について | ３０名 |

（５）国の補助事業

| No | 事　業　名 | 年　月　日 | 実施場所 | 事　業　内　容 | 参加人数 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 栄養ケア活動支援整備事業（補助事業）厚生労働省 | 令和元年９月１９日　～令和２年３月３１日 |  |  |  |
|  | 市・地域包括支援センター・認定栄養ケア・ステーションと連携した栄養パトロール事業（県央事業） |  |  | 市や地域包括支援センターの協力を得て、地域の在宅高齢者から栄養に課題があると思われる者を紹介いただき、管理栄養士・栄養士による栄養パトロールを実施した。栄養パトロールは、同一対象者に原則２回の訪問を実施し、その結果によりその後の対応方針を決定し、医療機関や通所介護施設への支援に繋げ、途切れのない支援に結び付けることができた。〇　訪問対象者　　　　　１３名〇　訪問栄養士　　　延べ４４名 |  |
| 通所介護事業所と連携した管理栄養士・栄養士介入事業（県南事業） |  |  | 通所介護事業所に管理栄養士・栄養士を配置しているところは少ない状況であるが、昼食の栄養管理、利用者の低栄養予防、家族からの栄養・食生活に関する相談対応等が必要な場合も多いことが想定される。通所介護事業所に管理栄養士・栄養士が定期的に係わることにより、利用者、家族の栄養ケアを行うことができることを検証し、管理栄養士・栄養士を継続的に供給できるシステムを構築するために、以下の事業を実施した。・昼食献立の作成への助言・低栄養ハイリスク者に対する食生活支援・通所者に対する栄養相談　等〇　対象者通所介護事業所の利用者６６名のうち、本人または家族に事業協力の同意が取れた方６１名 |  |
| 共食の場を活用した配食サービスブラッシュアップ事業 |  |  | おいしく食べてもらえる配食サービスを目指し、配食サービス事業者と連携し、管理栄養士・栄養士を配置し、公共施設等での共食の場を活用して、参加した高齢者からの意見等を集約し、配食サービスのブラッシュアップを図った。事業は二つに色分けして行い、一つはイベント時などの特別な日のメニューとしての配食サービス（ケータリンング形式での提供も視野に入れたもの）ものと、もう一つは従来からの一般的なお弁当メニューの配食サービスのブラッシュアップ事業を実施した。〇　実施回数【特別の日メニュー】　　　５回【お弁当メニュー】　　　　６回〇　参加者数【特別の日メニュー】　１３５名【お弁当メニュー】　　１２８名 |  |

（６）自主事業

| No | 事　業　名 | 年　月　日 | 実施場所 | 事　業　内　容 | 参加人数 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 生涯教育（第１回） | 令和元年１１月９日（土） | とちぎ健康の森大会議室 | ①オリエンテーション栃木県栄養士会副会長 飯田悦子②地域における訪問栄養食事指導ガイドについて　～医療から在宅へ　適切な連携に向けて～関東学院大学栄養学部教　授　　田中　弥生 | ３５名４６名 |
| 生涯教育（第２回） | 令和元年１１月１４日（木） | とちぎ健康の森小会議室 | ①認知症について白澤病院　診療部長神経内科専門医認知症専門医　　　星野　雄哉②フレイル予防東都大学管理栄養学部管理栄養学科　　佐藤　敏子 | ５４名５４名 |
| 生涯教育（第３回） | 令和元年１１月３０日（土） | とちぎ健康の森大会議室 | ①消化器がんと栄養自治医科大学消化器外科　　倉科　憲太郎②経腸栄養法の管理（経鼻、胃瘻）自治医科大学附属病院看護部　　古内　三基子③症例検討東都大学管理栄養学部管理栄養学科　　佐藤　敏子 | ４９名４８名４８名 |
| 生涯教育（第４回） | 令和２年　２月１日（土） | 宇都宮文星短期大学第２キャンパス | ①嚥下調整食学会分類2013に基づいた調理上都賀総合病院栄養科管理栄養士　　　横田　綾敦宇都宮文星短期大学栄養ユニット　　間庭　昭雄②摂食嚥下障害の評価と対応那須赤十字病院歯科口腔外科部長　伊藤　弘人③急性期病院における摂食嚥下障害と看護自治医科大学附属病院摂食・嚥下障害看護認定看護師戸田　浩司 | ２６名２４名２４名 |
| ２ | 生涯教育委員会 | 第１回令和元年９月１７日（火）第２回令和元年１２月９日（火） | 県栄養士会会議室 | 令和２年度の生涯教育研修会の研修内容、講師等について協議した。 | ７名８名 |
| ３ | 「日本人の食事摂取基準（2020年版）」研修 | 令和元年１２月２３日 | 獨協医科大学臨床医学棟講堂 | 「日本人の食事摂取基準（2020年版）の新たな視点とその活用」日本栄養士会　常任理事金沢学院大学人間健康学部健康栄養学科教　授　　木戸　康博 | １９２名 |
| ４ | (公社)栃木県栄養士会管理栄養士・栄養士無料職業紹介所 | 年間を通じて | 国内全域 | 平成19年12月に厚生労働大臣の許可を受け（公社）栃木県栄養士会管理栄養士・栄養士無料職業紹介所を開設し会員等の雇用確保に役立てるため、職業紹介を行った。また、会員への円滑な職業紹介を図るため、栄養士会ホームページに求人求職の掲示板を設置し、会員が求人情報の閲覧や求職等の申し込みができるように取組んでいる。 |  |
| ５ | とちぎ栄養ケア・ステーション事業 | 年間を通じて | 県内全域 | ・事業所、医療機関からの特定保健指導、栄養個別相談依頼への派遣・食育、健康講話等への講師派遣・食品表示 | 派遣数２名８名６名 |